



東風

○月○日

『明るく伸びる子』

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子
○じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和3年4月 7日発行 第1号

「愛ある学校」 ～認め合い 支え合い 高め合い～

岩内東小学校長 齊藤 信之

ひと冬を共に過ごした厚いコートは役目を終え、薄手の羽織り物へと主役交代です。重い冬は過ぎ去り、光の春の到来に心も足取りも軽くなるこの頃です。

依然として感染症の拡大に歯止めがかからず油断できない日が続いていますが、学校の状況は一年前とは大きく異なります。過日、年度の締めくくりである修了式をそろって終え、昨日は、新たな出会いに期待を膨らませながら着任式・始業式を終えるとともに、新一年生を迎える入学式も滞りなく終えることができました。こうして力強く動き出した学校の歩みを止めないためにも「学校の新しい生活様式」の徹底が求められます。シートによる毎日の健康状態の確認、マスク着用、こまめな手洗い等、ご家庭にもご協力をいただくことが多くありますが、すべては子どもたちとご家族の健康と命を守るためです。コロナとの共存に不安が消える日まで、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

今年度の学校の重点目標をご紹介します。

『あい（愛）ある学校 「認め合い」「支え合い」「高め合い』です。

子どもは、子ども同士のかかわりの中で多くを学び、成長していきます。健やかな学びと成長のためには、子ども同士の関係性が極めて大切であり、平等・対等が保障された中で一人一人が尊重され、安心して自己実現を図ることができる学校でなければなりません。昨年度の反省をもとに、本校では何にも増して「温かい学校づくり」が再重点だと考えています。学校全体を受容的・共感的な雰囲気満たし、違いや個性が当たり前認められる温かさと安心感に満ちた学校づくりが急務です。全ての教室で相手を大切に、互いに助け合い、補い合う子どもの姿が見られ、認められる喜びや成し遂げる達成感を実感できる毎日を創り出していきたいと思ひます。

とかく学力にばかり目が行きがちですが、教育の最終的な目的は、子どもたち一人一人に「人間性」を育むことです。挨拶ができる、返事ができる、後片付けができるだけでなく、ちゃんとできる、しっかりとできるという質にこだわり、授業中をはじめ学校生活のあらゆる角度から「素敵な人づくり」を進める一年としたいと思ひます。こうした確かな学校づくり、学級づくりがなされれば、結果として学力の向上がついてくるのだと思ひます。

全教職員が一体となり、子どもたちが毎日の学校生活を心から楽しめる学校づくりに努力して参りますので、その基盤となる規則正しい生活習慣の定着や家庭での学習習慣の定着等、ご家庭においても子どもたちを支えていただきますようお願いいたします。子どもの今と将来に責任をもって学校とご家庭とが力を合わせ、それぞれの役割を果たすことで、すべての子どもが一人の社会人として自立できる日を目指していきましょう。すべては子どもたちの幸せのためです。

